

Stand Up PJ 企画概要

プロジェクト名

誰もが自分らしく生きられる性差別がない社会の実現プロジェクト 『kowner』

プロジェクトの目的・概要

性差別やセクハラについて疑問や当事者意識を持っている大学生（共立生）や、男女(ジェンダー)の固定概念に疑問を抱いている人を募り、一年に1、2回セクハラ問題や人権について考える場、映画上映、学校づくりを考えるweekを開催し、自己を尊重することができ、相談しやすい大学を作る。

募集人数

10名以上

名程度

※活動運営に関わるメンバーとして

活動スケジュール

7月～翌年3月予定（その後もメンバーが引き継いでもらえればと思います）

8月:メンバー募集開始学生向けに性に関する実態調査実施

8or9月:オンラインで実態調査報告会

11月:秋の芸術祭に合わせて家政学部に働きかけてファッション×性被害を合わせた展示をする。ものを作らなくてもデザイン画だけでも効果ありそう。

※その他大学イベントと協力し、活動の周知を行う

1or2月:当事者や関心のある人が200人（大学1年~4年の30人に一人）が参加する、WEEKを開催する。※イベントは完全オンラインを予定

目的とする成果（効果・目標）

自己を尊重することができ、困ったときや、もし被害にあってしまったときに、より相談しやすい環境をつくることができると考える。学生が主体となりこのようなイベントを作ることが、被害にあってしまった学生がいた場合心強いのではないかと考える。この問題はなかなか表に出づらく、また根が深く、一人で抱え込んでしまうことが多い、大学がこの問題をもっと取り上げる必要があると思う。

対象

共立女子大生

サポーター

未定 男性職員1名以上希望

自由記述

現在4人

すべての学生が通いやすく、

困ったことがあれば相談しやすい風通しの良い学校づくりを目指していきたくております。

この活動は学生だけでなく職員の方々のご理解やご協力も必要不可欠だと考えています。

今回の活動を始めようと思った時に、参考にした他大学の団体を掲載させていただきます。

シャベル（早稲田大学）【<https://shaberuwaseda.wixsite.com/shaberu-waseda>】

Speak Up Sophia（上智大学）【<https://www.facebook.com/SpeakUpSophia/>】